



# 校長室だより

令和5年度 竜北西部小学校 第3号

文責 校長 服部 正

学校HP <https://es.higo.ed.jp/ryuhokuw/>

【随時更新中です。是非ご覧下さい！】

【学校教育目標】「やる気・ゆう気・根気！一人ひとりが輝く竜西っ子」～ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる児童の育成～

## 温かいたくさんの声援をありがとうございました！ 互いに成長を喜び合う最高の運動会になりました



応援団長による「誓いの言葉」



3・4年生ダンス「南中ソーラン」



1・2年生ダンス「私は竜最っ子！」



運動会スローガンと一緒に6年生

5月28日（日）は、素晴らしい晴天に恵まれ、絶好の運動会日和になりました。

ご多用の折、町議会や町教育委員会そして学校運営協議会等。たくさんの来賓の皆様にご臨席賜りました。またPTA 役員の皆さんには、愛校作業や前日準備、当日も朝早くから係の業務にあたっていただきました。

このようにして開催させていただいた運動会は、たくさんの声援に押され、児童も職員も熱く最高に燃えるものになりました。

「赤白正々堂々 勝利の道は切り開け」の運動会スローガンのとおり、最後まで全力でやり抜く子どもたちの姿は、たくさんの感動を与えてくれました。推進中の「子ども一人ひとりに活躍の場がある学校づくり」の一端を垣間見ていただけたのではないかと思います。また、下記の閉会式での児童の言葉に、この運動会にける子どもたち思いが集約されていましたので紹介します。

「みなさん、運動会はどうでしたか？練習の成果は出せましたか？私は勝つことも大切ですが、今日の運動会で仲間と応援し、正々堂々と戦ったことはみなさんの大切な思い出と経験になると思います。みなさんの頑張りの一つ一つで、すばらしい運動会にすることができました。また見守って下さったご来賓の皆さん、地域の皆さん、お父さん、お母さん、先生方、最後まで応援の言葉を送ってくださり、本当にありがとうございました。」

今後とも西部小をよろしく願います。

## 「読書活動日本一」をめざして ～読書の影響～

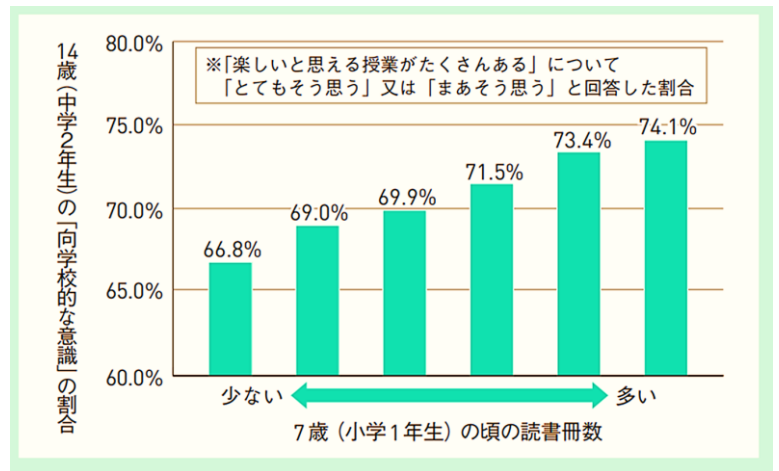
本校の今年の中心的な取組の一つに「読書活動日本一」があります。この度、文部科学省から「読書が子どもに与える影響」について、下記のような発表がありましたので紹介します。

読書を多くすることによる影響を分析したところ、

- ①「新奇性追求（新しいことに興味を持つ、など）」
- ②「感情調整（自分の感情を調整する、など）」
- ③「肯定的な未来志向（将来に対して前向き、など）」

といった『精神的な回復力』や、『小・中・高校生の時期の向学校的な意識に良い影響』（グラフ右）が見られることが分かりました。

本校では、各学級で今年目標冊数を設定した取組を中心に、児童会（図書委員会）、学校運営協議会やPTA、お話し会の皆さんと協力し、多様な読書活動を展開していきます。



## 学校運営協議会の皆さんと各委員会（6年生）のランチミーティング！

～子どもも大人も共に学び合う学校に～

6年生の各委員会の子供たちと学校運営協議会の皆さんによる「ランチミーティング」を行いました。この目的は、日頃から学校課題の解決に向けて協議し、行動している学校運営協議会の皆さんに子どもたちの生の声を聞いてもらうとともに、子どもたちには各委員会で今年何をめざしてどんなことに取り組もうとしているか、大人の人に説明し、互いの意見を交換する機会をつくることです。

6月1日から4日間、2つの委員会毎に進めました。学校運営協議会の皆さんには、所属するワーキンググループでの取組に関係がある委員会を選んでいただきました。

何をめざすのか、何のためにやるのか、何をやるか等、活発に意見交換がなされました。大人からは、「子どもたちの意見をいかして〇〇ができそうだ」子どもからは「さっそく明日〇〇をやってみよう」等、和気あいあいとした中でとても期待を膨らませていました。そして、「楽しかった！是非またやりたい！」という大きな声がそれぞれから聞かれました。とても有意義な会でした。形を変えながら、継続して取り組みたいと思いました。



給食委員会の児童と…



運営委員会の児童と…



大人も子どもも一緒になって「活気と笑顔があふれる学校をつくりたい」「一人ひとりに活躍の場がある学校をつくりたい」「一緒に学び合う体験ができる学校をつくりたい」と、それぞれの熱い思いを語り合いました。